

111 私たちの解放者イエス(2)

ヨハネによる福音書 8 : 51~59

・・・・・・ 仮庵祭の 7 日目のこと（十字架にかかる前の年、半年前の仮庵祭）・・・・・・

51 はっきり言っておく。わたしの言葉を守るなら、その人は決して死ぬことがない。」

→回復訳：まことに、まことに（＝アーメン、アーメン）、わたしはあなたがたに言う。

52 ユダヤ人たちは言った。「あなたが悪霊に取りつかれていることが、今はっきりした。アブラハムは死んだし、預言者たちも死んだ。ところが、あなたは、『わたしの言葉を守るなら（→8 : 31 わたしの言葉にとどまるならば）、その人は決して死を味わうことがない』と（訳の分からないことを）言う。

→人々はイエスが自分に従えば決して死なない（→肉体の死ではない）と言った意味が分からずにいる。
ユダヤ人たちはイエスが悪霊に取りつかれて、気が狂っていることを確信している。

53 わたしたちの父アブラハムよりも、あなたは偉大なのか。（決してそうではない。）彼は死んだではないか。預言者たちも死んだ。いったい、あなたは自分を何者だと思っているのか。」

54 イエスはお答えになった。

「わたしが自分自身のために栄光を求めようとしているのであれば、わたしの栄光はむなしい（→内容がなく、無に等しい）。わたしに栄光を与えてくださるのはわたしの父であって、あなたたちはこの方について、『我々の神だ』と言っている。

55 あなたたちはその方を知らないが、わたしは知っている。（だから、）わたしがその方を知らないと言えば、あなたたちと同じくわたしも偽り者になる。しかし、わたしはその方を知っており、その言葉を守っている。

56 あなたたちの父アブラハムは、わたしの日を見るのを楽しみにしていた。そして、それを見て、喜んだのである。」

→（リビング・バイブル）あなたがたの先祖アブラハムは、わたしの日を思い見て喜びにあふれました。
わたしが来るとわかったからです。

57 ユダヤ人たちが、「あなたは、まだ（若く、祭司としての役割を終える）五十歳にもならないのに、アブラハムを見たのか」と言うと、

58 イエスは言われた。

「はっきり言っておく。アブラハムが生まれる前から、（神と共に）『わたしはある。』」

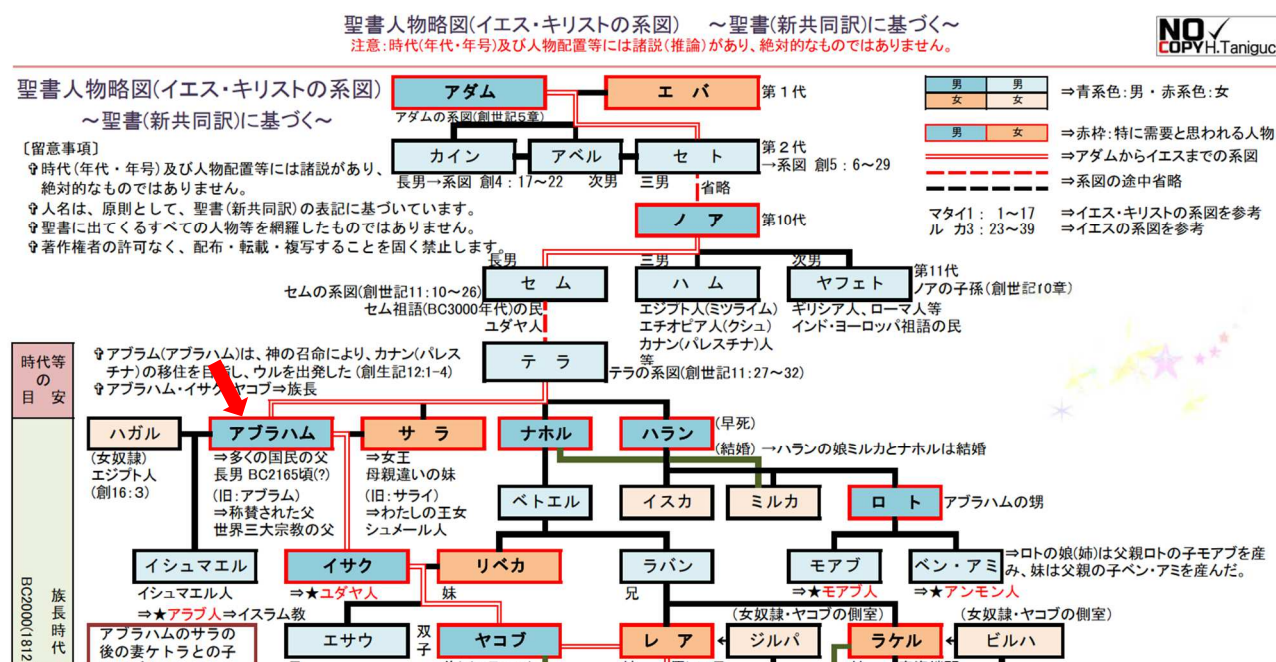
59 すると、ユダヤ人たちは、（イエスが神に等しい発言をしたことで、冒瀆罪にあたるとして）石を取り上げ、イエスに投げつけようとした。しかし、イエスは身を隠して、神殿の境内から出て行かれた。

→当時、神殿が工事中（ヘロデ大王はこの事業を通じて彼の名を永遠のものにすることに関心を寄せており、その事業は非常に広範囲に渡るものであった）だったので、神殿内には、かなりの石くず等が落ちていたと思われる。

【参考】創世記 6:3

主は言われた。「わたしの霊は人の中に永久にとどまるべきではない。人は肉にすぎないのだから。」
こうして、人の一生は百二十年となった。

【参考】聖人人物略図(アダム～アブラハム他)



【参考】聖書にある石打刑に関する聖句(一部)

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 6 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
K 出エジプト記	17:4 モーセは主に、「わたしはこの民をどうすればよいのですか。彼らは今にも、わたしを石で打ち殺そうとしています」と叫ぶと、	
K サムエル記上	30:6 兵士は皆、息子、娘のことで悩み、ダビデを石で打ち殺そうと言い出したので、ダビデは苦しんだ。だが、ダビデはその神、主によって力を奮い起こした。	
S ヨハネによる福音書	10:31 ユダヤ人たちは、イエスを石で打ち殺そうとして、また石を取り上げた。	
S ヨハネによる福音書	10:32 すると、イエスは言われた。「わたしは、父が与えてくださった多くの善い業をあなたたちに示した。その中のどの業のために、石で打ち殺そうとするのか。」	
S ヨハネによる福音書	10:33 ユダヤ人たちは答えた。「善い業のことで、石で打ち殺すのではない。神を冒涇したからだ。あなたは、人間なのに、自分を神としているからだ。」	
S ヨハネによる福音書	11:8 弟子たちは言った。「ラビ、ユダヤ人たちがついこの間もあなたを石で打ち殺そうとしたのに、またそこへ行かれるのですか。」	